2018/3/30

建築確認申請書作成ツールは、バージョン 1.2.0.0 より物件データ保存先を任意の場所に変更したり 複数名で物件データ・マスタデータを共有したりできるようになりました。

この機能を利用するにあたって、従来の物件データやマスタデータを新しい物件データ保存先(以下、 「移行先」とします)に複数 PC から集約する、もしくは移行する必要があります。

詳細な手順を次ページから説明しますが、大まかな流れとしては①従来のマスタデータ・物件データの 抽出→②移行先の設定→③抽出したデータを移行先へ読込、となります。

### 1. 想定されるご利用方法

## 1) 事務所内で物件データを共有

事務所内のネットワークサーバー等を移行先とすることで複数名の方が同じ物件データを共有。 編集された方以外の PC でも常に最新の申請書を表示(※)することが可能となります。 ※いずれかの PC で開いている物件は、他の PC では開けません。



# 2) 事務所とご自宅で物件データを共有

外付けハードディスクや USB メモリを移行先とすることで、事務所とご自宅で同じ物件データ を利用。外付けハードディスクや USB メモリを差し替えるだけで、先ほどまで事務所で編集し ていた申請書をご自宅で表示することが可能になります。



2018/3/30

2. 従来のマスタデータのエクスポート

保存先を変更するにあたって従来のマスタデータを抽出しておき、移行先にマスタデータを移行 できるようにします。

※複数 PC のマスタデータを1箇所に集約する場合は、全ての PC で下記作業を行ってください。

- 1) 建築確認申請書作成ツールを起動します。
- 2) 画面左側の「マスタ設定」ボタンをクリックします。
- マスタ設定画面が表示されますので、下部の「マスタエクスポート」ボタンをクリックして
   任意のマスタデータ抽出先と名前を設定してから「保存」ボタンをクリックします。



4)抽出が完了するとメッセージが表示されます。



2018/3/30

3. 従来の物件データのエクスポート

保存先を変更するにあたって従来の物件データを抽出しておき、移行先に物件データを移行できる ようにします。

※複数 PC の物件データを1箇所に集約する場合は、全ての PC で下記作業を行ってください。

- 1)建築確認申請書作成ツールを起動します。
- 2) 左上部メニューの「ツール」→「オプション」を開きます。

🚼 建築確認中調	青書作成ツール	,	
ファイル(F)	ツール <b>(</b> T)	へルプ(H)	
	オプション(0)		
物件也	*		
		物件名	

3)現在の物件データ保存先が表示されますので「物件データエクスポート」ボタンをクリック

します。

物件データ保存先 申請ファイル出力先 検査機関 郵便番号データ取込 お知らせ表示設定 物件ロック解除
物件データ保存先フォルダお使いのユーザー名 ※これまでの物件データ移行手順はこちら
C:#Users1 ¥AppData#Roaming#ERIRCT#DataFiles 参照
※ 複数名や複数POで物件データを共有されたい場合はネットワークサーバ、外付けハードディスク等をご指定下さい。 ※ フォルダを変更すると、物件データの再読込を行い、メインメニュー画面に戻ります。ご注意ください。
標準設定に戻す 物件データエクスポート 物件データインポート 保存

4) ファイルの抽出先設定画面が表示されますので、任意の保存場所と名前を設定してから

「保存」ボタンをクリックします。

名前を付けて保存						
COO ♥ ▲ ▶ ⊐>€	Comparison (C:) →      マ 4 OS (C:)の検索     P					
整理 ▼ 新しいフォ	ルダー	==	• 0			
	▲ 名前 ▲	更新日時	種類			
▲ 😭 ライブラリ > 📑 ドキュメント	\$RECYCLE.BINrpcs	2012/08/29 15:23 2013/02/01 14:28	ファイル ファイル			
▷ 📄 ビクチャ ▷ 🔡 ビデオ	BUSINESS	2012/08/31 11:55 2017/12/12 16:02	ファイル <sup>E</sup> ファイル			
▷ 👌 ミュージック	Documents and Settings	2009/07/14 13:53 2012/08/28 10:33	ファイル			
▶ 🖳 コンピューター	MSOCache	2012/08/29 15:35	ファイル			
▶ 🖣 ネットワーク	PerfLogs	2009/07/14 11:37 2018/02/09 10:43	ファイル ファイル マ			
			4			
ファイル名( <u>N</u> ): 申	ファイル名(N): 申請書作成ツール物件データ.rctexp ・					
ファイルの種類(I): 申請書作成ツールエクスポートファイル(*.rctexp)						
● フォルダーの非表示     日本のシセル     日本のシセル     日本のシセル     日本のシセル     日本のシセル     日本のシセル     日本のシセル     日本のシセル     日本のシャーム     日本のシーム     日本の     日本の						

5)抽出が完了するとメッセージが表示されます。



2018/3/30

### 4.物件データ保存先の変更

新しい物件データ保存先(移行先)を設定します。ご自身の利用状況により PC 内、ネットワーク サーバー、外付けハードディスクや USB メモリを自由に選択します。

※ドライブとして認識できる場所のみが対象となります。ネットワークサーバーを保存先とする 場合は事前に「ネットワークドライブの割り当て」を行なってください。

○ • • • • • • • • • • • • • • • • • • •			<ul> <li>✓ 4y コンピューター(</li> </ul>	<ul><li>回 ●</li><li>の検索 </li></ul>
整理 ▼ システムのプロパティ プログラムのアンインストールと変更	ネットワーク ドライ	ブの割り当て	コントロール パネルを開く	≌= ▼ □ 0
・       ネットワークドライブの割り当て         割り当てるネットワークフォルダーを選択してください         接続するフォルダーと使用するドライブ文字を指定して(沈さい:         ドライブ(D):       X:         フォルダー(Q):       ・         例: ¥¥server¥share		ドライ いない 「参照 ライブ	ブ名はご利用 PC st ものとしてくださ {」ボタンをクリッ でを指定します。	環境で他が使用して い。 クしネットワークド

## ※保存先のフォルダは、このタイミングでは作成できませんので、事前に準備してください。

- 1)建築確認申請書作成ツールを起動します。
- 2) 左上部メニューの「ツール」→「オプション」を開きます。

🔠 建築確認申請書作成ツール				
ファイル(F)	シール <b>(</b> T)	ヘルプ(H)		
	オプション(0)			
物件も	*			
		物件名		

3)物件データ保存先が表示されますので「参照」ボタンをクリックして、新しい物件データ保存



4) 設定が完了するとメッセージが表示されます。



2018/3/30

### 5. 従来の物件データのインポート

先ほど抽出しておいた物件データを、移行先に読み込んで移行します。

※複数 PC の物件データを集約する場合は、抽出したファイルを全てインポートします。

- 1) 建築確認申請書作成ツールを起動します。
- 2) 左上部メニューの「ツール」→「オプション」を開きます。

🛃 建築確認申請書作成ツール				
ファイル(F)	ツール <b>(</b> T)	ヘルプ(H)		
	オプション(0)			
物件也	素			
[		物件名		

3)「物件データ保存先」タブに移行先が表示されますので「物件データインポート」ボタンを クリックし、物件データを追加する旨のメッセージが表示されたら「はい」ボタンをクリック

します。

オプション	
物件データ保存先 申請ファイル出力先 検査線関 郵便番号データ取込 お知らせ表示設定 物件ロック解	()
※これまでの物件データ移行手順 物件データ保存先フォルダ	
Y: WERIRCT ※ 複数を合体複数PCで物件データを共有されたい場合はネットワークサーバ、外付けハードディスク等をご指定了	参照 Fč()。
※ フォルダを変更すると、物件データの再読込を行い、メインメニュー画面に戻ります。ご注意(ださい。	物件データインポート
標準認定に戻す 初件テータエクスポート 初件テータインボート	- 納件データインボートを行うと、現在の物件データに追加されます。 インボートを行いますか?
	(はいひ) いいえの)

4) インポートするファイルの選択画面が表示されますので、先ほど抽出したファイルを指定し 「開く」ボタンをクリックします。

開く			×
בשעב א 🔤 🗸	ーター 🖡 OS (C:) 🖡 🔹	・ 👍 OS (C:)の検索	٩
整理 ▼ 新しいフォル	ダー	≡ ▼ 🔳	0
🚺 ダウンロード 🔺	名前	更新日時 種類	-
■ デスクトップ	퉬 \$RECYCLE.BIN	2012/08/29 15:23 ファイ	96
3 最近表示した場№	퉬 _rpcs	2013/02/01 14:28 ファイ	96
	퉲 арр	2012/08/31 11:55 ファイ	94
▲ 🎘 ライブラリ	퉬 BUSINESS	2018/03/09 19:20 ファイ	ル티
▷ 📑 ドキュメント	ᡖ Documents and Settings	2009/07/14 13:53 ファイ	うレー
▶ 🔤 ピクチャ	퉲 hp	2012/08/28 10:33 ファイ	0L
▶ 📕 ビデオ	🁪 jww	2015/12/24 13:20 ファイ	(ル)
	🍌 MSOCache	2012/08/29 15:35 ファイ	うレー
	퉬 My Virtual Machines	2017/11/08 10:45 ファイ	ΟL
	퉬 PerfLogs	2009/07/14 11:37 ファイ	0L
▲ 🖳 コンピューター	퉬 Program Files	2018/02/09 10:43 ファイ	96 - JU
4 🚢 OS (C:)	퉬 ProgramData	2017/04/19 16:57 ファイ	914 -
🛛 🐌 🗱 🗛 🛛 🖗	Recoverv	2011/02/11 5:34 ファイ	00 T
-			
ファー	イル名(N):	▼ 申請書作成ツールエクスポート	-
		聞く(0) ▼ キャンセル	

2018/3/30

5) インポートが完了するとメッセージが表示されます。

物件データインポート 🧮	x
() インボートが完了しました。	
ОК	

6) インポートした物件に既に存在する物件が含まれていた場合はダイアログが表示されます。 複数 PC で同一物件の編集を行なっていた場合は、最終的な申請書データを残して、残りは 削除するようにしてください。

※「物件名」「建築主名」「地名地番」が一致するものがないか照合しています。

同一の物件が存在します。		
物件名	建築主名	地名地番
B様邸新築工事	テスト建築主78901	新潟県新潟市4567/新潟町4567890

※同一物件チェックは物件検索画面からも実行できますので、後日改めて確認する ことが可能です。

物件データの移行処理は完了しましたので、物件検索画面で全ての物件データが表示されることを 確認してください。

※申請書作成ツールを起動した時点や「物件検索」ボタンをクリックした時点では、「最近更新した 10 件」のみが表示されますので、検索条件なしで「検索」ボタンをクリックして全件を表示して下さい。

6. 従来のマスタデータのインポート

先ほど抽出しておいたマスタデータを、移行先に読み込んで移行します。

※複数 PC のマスタデータを集約する場合は、抽出したファイルを全てインポートします。

- 1)建築確認申請書作成ツールを起動します。
- 2)画面左側の「マスタ設定」ボタンをクリックします。
- 3) マスタ設定画面が表示されますので、下部の「マスタインポート」ボタンをクリックします。

2018/3/30

4)マスタインポート画面が表示されますので、インポートするマスタ、次に既存データを「上書 き」するのか「追加」するのか選択してから「インポート」ボタンをクリックします。確認メ ッセージが表示されるので「はい」をクリックしてください。

(マスタインポ−ト	マスタインポート 🛛 🕅	
<ul> <li>インボートするマスタの選択</li> <li>▽ 建築主(設置者、築造主)</li> <li>▽ 代理者、設計者、工事証理者</li> <li>▽ 工事施工者</li> <li>▽ 建築設備の設計(2間し意見を築いた者</li> <li>▽ 屋根</li> <li>▽ 軒裏</li> <li>▽ 特定工程</li> <li>● 既存のマスタデータを上書きする</li> <li>● 既存のマスタデータに追加する</li> </ul>	マスタインボートを行うと、現在のマスタは上書きされます。 インボートを行いますか?          マスタインボート         マスタインボートを行うと、現在のマスクは上書きされます。 インボートを行いますか?	23」
インボート キャンセル		まい(Y) いいえ(N)

6) インポートするファイルの選択画面が表示されますので、先ほど抽出したファイルを選択し 「開く」ボタンをクリックします。



マスタデータの移行処理は完了しましたので、マスタ設定画面で移行したデータが表示されることを確認してください。

- ※ネット―ワークサーバー等を保存先とし物件データおよびマスタデータの移行が完了した場合、他の PC では「4.物件データ保存先の変更」を行なうだけで、同じ物件データやマスタデータを表示す ることができるようになります。
- ※物件データおよびマスタデータのエクスポートは、バックアップ機能としてもご利用頂けます。